

ひかわ生協 看護小規模多機能事業所みなみサテライトとまと

2024年度 第6回 運営推進会議 報告書

日時:2025年3月19日(水) 14:08 ~ 14:25

会場:あっとホームひかわ食堂

参加者:出雲市健康福祉部高齢者福祉課

斐川高齢者あんしん支援センター

住民代表

介護事業部部長

看護小規模みなみ所長

介護事務

司会 書記

議事

I. 自己紹介

II. 事業活動報告

- ① 稼働報告
- ② 活動内容
- ③ 事例報告
- ④ 質の向上
- ⑤ 他の事業所、医療との連携
- ⑥ 社会参加について
- ⑦ 苦情・要望について
- ⑧ アクシデント・インシデントについて

III. 質疑応答

(問)ご利用となられた経過に「施設入所は可哀想」とあるが、入所が可哀想というのはどのような内容でしょうか

(回答)利用開始時に看護小規模多機能事業所のご説明を行い、施設への申し込みをされていますが、いざ順番がきた時に家族様がお断りされたケースがありました。施設に入ること、環境が変わることが心配になられたり、職員も新たに変わることになるので、慣れたところを希望されるように思います。毎月のモニタリング等家族様とお話するときにもお伝えしていますが、今後も看護小規模多機能事業所の役割を合わせていく必要があります。

看護小規模多機能事業所は、最期まで看取ってもらえる場所ということもと家族様から言われることもあるので、話の積み重ねが今後さらに密にしていきたいです。

(問) この事例の方は、今まで暖房器具はどうされていましたか？

(回答)ようやく去年に小さなヒーターを購入していただきました。

暖房器具を購入されなかった背景や他の家族様がどう過ごされていたか分かりません。

家族様が環境の変化に抵抗を感じておられた場合もありました。

(問)ネグレクトになるのではと心配になります。

(回答)職員もそういう視点になるということを考え、発信していきたいと思います。

(問)医療的行為があると、特老への入所が難しい場合がありますよね。

(回答)そうですね。インシュリン注射等医療行為があると難しいと考えます。

IV. その他